



徳山大学 校友会誌

第13号

平成3年12月1日

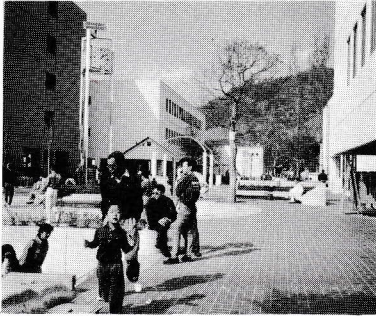
発行所 徳山大学校友会
〒745 山口県徳山市久米
徳山大学内
TEL 0834 (28) 0411 (代)
発行責任者 豊岡 正行
編集発行人 中村 道陽

第一回評議員会 開催される

平成三年六月二十二日、アドホックホテル丸福において徳山大学校友会第一回評議員会が開催された。

これまで校友会活性化のための組織再編について議論がされてきたが、この度より実のある組織改革ということから、評議員の制度となった。これは、第一号議員（職域）第二号議員（地域・支部）第三号議員（クラブOB）第四号議員（期別・功労者）からなり、それぞれから代表を選出するという方法で総数五十二名で構成されている。今回の評議員会は、その内四十二名の出席により開催された。

評議員会終了後、懇親会が行われ、理事長、徳山市長らを囲み、なごやかなひとときがおくられた。今回、選出されました全評議員をご紹介します。（敬称略）



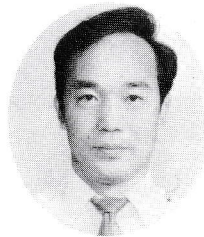
（学食前）

評議員紹介

（）内の数字は期卒

第一号議員（職域）

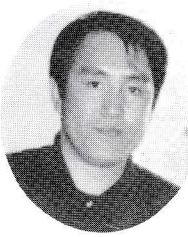
氏名 兼重 宗和(1)
勤務先 徳山大学



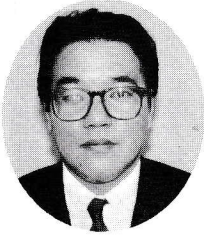
氏名 近森 卓司(1)
勤務先 徳山大学



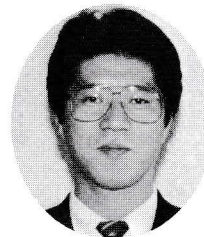
氏名 石川 龍彦(2)
勤務先 徳山大学



氏名 藤岡 正史(2)
勤務先 徳山大学



氏名 三嶋 隆史(3)
勤務先 徳山大学



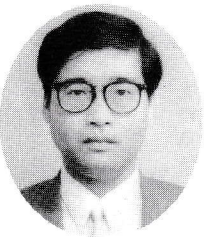
氏名 国広 哲敏(1)
勤務先 徳山市役所

氏名 豊岡 正行(1)
勤務先 徳山市役所

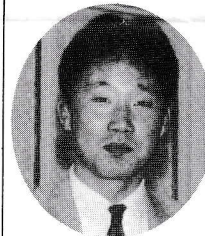


氏名 瀬川 昌文(1)
勤務先 (株)島屋

氏名 米山 伸明(1)
勤務先 東山口信用金庫



氏名 和泉 憲明(9)
勤務先 (株)島屋



氏名 田村 和久(13)
勤務先 トヨタカローラ山口(株)

氏名 今本 康徳(12)
勤務先 防府警察署

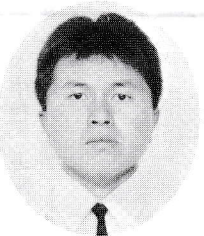
氏名 脇坂 泰史(10)
勤務先 オーク薬品(株)

氏名 小田 広昭(8)
勤務先 広島トヨタ自動車(株)

氏名 松宮 光(7)
勤務先 総合警備保障(株)



氏名 加藤 友昭(6)
勤務先 (株)スーパーフじおか

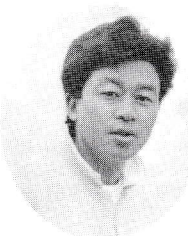


第二号議員 （地域・支部）

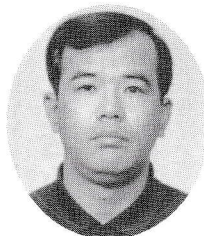
氏名 長谷川 洋(2)
勤務先 (株)ユニカ



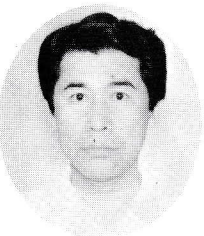
氏名 小坂 稔(2)
勤務先 協栄生命保険(株)



氏名 神垣 勝嘉(4)
勤務先 (株)山本商会



氏名 中村 厚彦(2)
勤務先 アポロサービス(株)

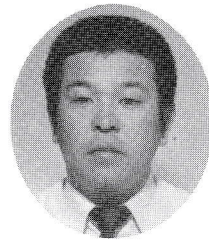


氏名 角広 保幸(2)
勤務先 かどひろ呉服

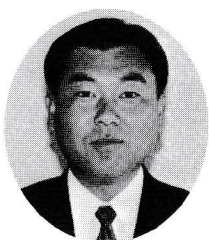
氏名 島田 善正(2)
勤務先 島田車輛販売

氏名 箱崎 秀彰(2)
勤務先 徳山市役所

氏名 寿山 勝己(4)
勤務先 徳山大学



氏名 柴村 太(9)
勤務先 徳山大学



氏名 鹿嶋 三生(2)
勤務先 徳山大学(空手道)

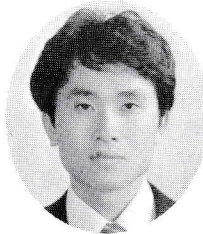
第三号議員

(クラブOB)

氏名 原田 浩道(6)
勤務先 (株)バオ(硬式野球)



氏名 守田 文男(7)
勤務先 (株)JUKI(ヨット)



氏名 大西 清二(11)
勤務先 日産プリンス山口販売(株)(ハンドボール)

氏名 川崎 晃一(6)
勤務先 東京海上火災代理店(合気道)

氏名 中野 雅彦(14)
勤務先 広島酒販(株)(ラグビー)

氏名 吉本 俊也(14)
勤務先 (有)いずみ(陸上競技)



第四号議員

(期別・功労者)

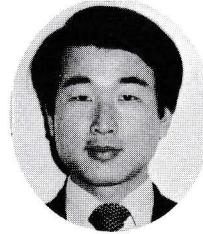
氏名 国広 憲(1)
勤務先 中国アセチレン(株)



氏名 井上 基義(2)
勤務先 (有)保険プランナー



氏名 秋本 辰己(3)
勤務先 徳山大学



氏名 磯村 泰将(4)
勤務先 徳山市役所

氏名 野崎 俊明(5)
勤務先 徳山市役所

氏名 元宗 薫(6)
勤務先 光輝病院

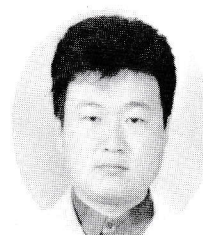


氏名 古谷 幸男(7)
勤務先 徳山市議会議員

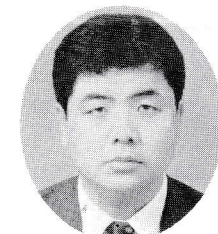


氏名 村瀬 秀輝(9)
勤務先 徳山大学

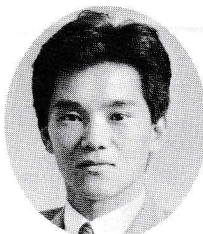
氏名 岡 浩治(8)
勤務先 (有)保険プランナー



氏名 中村 道陽(11)
勤務先 徳山大学



氏名 元山 晃(12)
勤務先 徳山女子短期大学

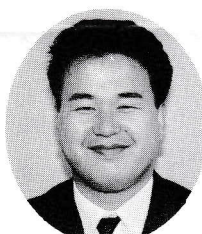


氏名 赤松 保明(1)
勤務先 (有)赤松塗装工業所(元会長)

氏名 八木 馨三(1)
勤務先 八木水産(株)(元会長)

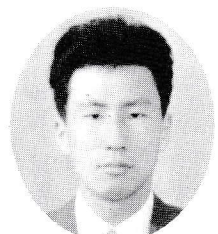
氏名 福原 良裕(1)
勤務先 リコー精器(株)(前会長)

氏名 清木 克敏(15)
勤務先 徳山市役所



氏名 井口 喜友(16)
勤務先 総合警備保障(株)

氏名 山本 啓介(17)
勤務先 新南陽市役所



OB会活動紹介

陸上競技部OB会

(徳山大学アスレチッククラブ)

- ・年会費 一万円
- ・会員数 約六十名
- ・主な活動 年一回総会開催 年間二十回試合結果報告 遠征費、備品費の援助

硬式野球部OB会

- ・年会費 一万円
- ・会員数 約百七十名
- ・主な活動 年一回総会、OB戦OBコンベン開催

柔道部OB会

- ・年会費 一万円
- ・主な活動 学生への援助

ラグビー部OB会

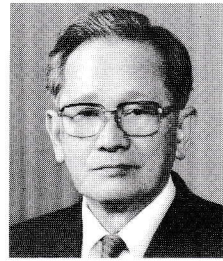
- ・年会費 三千元
- ・主な活動 会報(チャレンジ)発行 備品(ボール等)援助 現在OB名簿整理中 磯村(4期卒)まで連絡を

ハンドボール部OB会

- ・年会費 六千元
- ・会員数 約二十名
- ・主な活動 OBチームとして 県内各大会に参加

大学の近況と将来計画

理事長・学長代行 三好啓治



年に一度、校友会誌上において皆様方校友会会員にお知らせする機会をえて、誠に嬉しく思います。皆様には、それぞれの職務において日夜ご活躍されておられることと思ひます。慶賀の至りに存じます。

皆様の母校徳山大学への志願者が千人をこえたのは、つい数年前のこと、教職員一同喜んでいました。一昨年三千人台、昨年五千九百人台、本年七千人台と急に志願者がふえ、一同嬉しい悲鳴をあげております。これひとえに、先輩である皆様方の在学中における実績と、社会に出てからの貢献度が、社会人はもとより、高校生に評価され、「われもわれも徳大へ」という気持ちで数字にあらわれたものと思ひます。たとえば、本誌別項にあるように、野球、サッカー、陸上競技等の運動部はもとより、吹奏楽団が中国地方を代表して全国大会に出場、などクラブ活動は年を追うて立派な成績をあげております。

・研究もすすんでおります。先生方の学内誌への論文寄稿はもとより、国内や国外での研究発表に出席する先生も出て参りました。これらが、学生に効果的な影響を与えることはいう迄もありません。さて、ふり返って考えると、日本の十八才人口は近く減少しはじめる、十年先には、最大値の六割くらいになります。大学の冬の時代が来ますが、絶対に生き残らねばなりません。皆様の母校をつぶしてはいけません。このことは、教職員一同、在学生等充分自覚しております。

私は学長代行として各方面の協力をえて、この対策にのり出しました。ここにその一部をお伝えします。私は大学の教職員に対し、日常業務のほかに、二十一世紀においても生成発展する徳山大学にするにはどうしたらよいか、考えしてもらいたいと四つの委員会を作らうことになりました。それは仮称、

- ① 基本構想委員会
 - ② 国際交流委員会
 - ③ 地域交流委員会
 - ④ キャンパス整備委員会
- ①は、生き延びるだけでなく、発展するためには、どんな大学にし、何を教育すればよいか等が中心になります。
- ②は、時代のすう勢である国際交流はどうするか。
- ③は、地域に開かれた大学とは、どうあるべきか。
- ④は、これらをふまえて、現在のキャンパスをどう拡張し、何を増設すればよいか、等を考え、政策を答申してもらいます。場合によっては、校友会の方々の意見も拝聴する必要があるかとも思いますが、母校のため積極的にご発言下さい。

校友会からは、いつも物心両面のご協力をいただいておりますが、この紙面をかりてお礼申し上げますとともに、徳山の近くに來られる際は、ぜひお立ち寄り下さい。キャンパスは生気満々です。

大学の正常化と第一歩

校友会会長 豊岡正行(一期生)

「足腰の強い組織に」と、公約した校友会の機構改革が実現し、平成三年度より一新された校友会がスタートしたことを、まず最初にご報告します。そして、これか

らは「存在感のある集合体」として、その力を結集し明るい話題を提供しながら、徳山大学の信頼回復に努めねばと考えています。校友会の新組織である第一回評

議会は、去る六月二十三日、市内のホテルで盛大に開催されました。評議会はこれまでの期別代議員制を拡充し、地域(支部)や職域、クラブOB会など代表者五十人で構成、本会の重要懸案を審議していただきました。卒業生は現在約七千人、相互の信頼関係で、さらに各地で支部が結成されたり、職域やクラブOB会が作られ、これらの代表が評議会に参画されることを願っています。

さて、徳山大学はこの数年、あまたの辛苦をなめました。教授会対立から村田前学長の解任、そして裁判問題と、揺れた大学は新学部構想が白紙にもどるという事態にまで至りました。しかし、大学はこの困難を克服し、三好理事長(兼学長代行)のもと、教授会は従前どおり正常に開催されるようになりました。そして、これからの大学の基本構想を打ち出すべく、教育課程の改訂・国際交流・キャンパス整備・地域交流について、教職員の委員会が発足するなど良い方向へと向っています。

大学と運命共同体である校友会は、大学の内部紛争が始まって以来、正常化へ向けて積極的な働きかけをしてきました。今後も大学の名誉回復のために尽しますが、まず学長選考規程を早急に取りまとめ、全学一致しての学長を選任することが第一歩と考えます。そして、十八歳人口が激減する「大学冬の時代」を直前にし、二、三十年先を見通した将来構想を確立すべきと考えています。

校友会も、本年度から足腰の強い組織となり、アカデミックな活動を展開していくべく努力します。また、校友会結成二十周年を目前

徳山女子短大 新学長就任

勝原文夫氏

徳山大学の姉妹校である女子短大の新しい学長に、勝原文夫教授(68才)が九月二十八日選ばれた。村田憲太郎前学長の任期満了に伴うもので、任期は平成三年十月一日から同四年。

勝原氏は兵庫県出身で、東京大学経済学部卒。昭和二十三年に設立されたばかりの国立国会図書館調査立法考査局に入り、同局の調査資料課長などを経て同局長、調査企画室主任などから昭和六十二年四月、女子短大の創設と同時に教授に就任し、平成元年からこの三月まで学長を務めた。

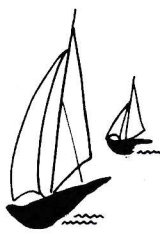
専攻は農村経済学で自然景観論の権威。「農の美学」「村の美学」の著書で昭和六十二年、自然景観の保全などに功績があった人に贈られる「田村賞」を受賞。句集も二冊出版しており、写真が趣味で、同短大の校歌も作詞している。

ヨット部OB会(徳帆会)
。年会費 六千円
。会員数 約五十名
。主な活動 年一回総会開催
会報発行、OB現役親善レース、備品援助

軟式野球部(12月発足予定)
。年会費 一万円
。会員数 約五十名
。趣 旨 会員相互の親睦と現役への援助

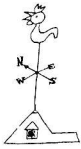
空手道部OB会
。年会費 三千円
。会員数 約五十名
。主な活動 年一回総会開催
会報(押忍徳大空手道部)年三〜四回発行、後輩への援助活動

活動紹介 空手道部OB会
空手道部OB会では、大学職員で空手部監督の河本博史氏が事務局となり活発な活動をしている。会報「押忍徳大空手道部」は今年度もすでに五号を発刊し、OB各位に対して、大会成績やOB会のことなど逐一伝えていく。現在はB4版オモテ印刷のみであるが両面を希望する声もあり、事務局では尚一層努力することである。



随想

あれこれ



遙かなる ドリリーネの友へ

徳山大学教授

井上和幸



遙かなり 学窓の友よ

遙かなり ドリリーネの友よ

憶えているかい ああ秋吉台の自然が造った羊の群とドリリーネをしっかりと握って漆黒の闇に突き掲げたあの松明の感触を……。炎の中に浮んだ友の顔々を……。

大学に入学してすぐ、否応なくバスに乗せられ連れて来られた秋吉台でのオリ・ゼミ、連日の集団行動、講話と討議、ファイアを囲んでのパフォーマンス等々……。

あれは徳大生になるための儀式であった。キャンプファイアの最後を飾る松明の集いこそ、まさしくドリリーネの友の誕生であった。「オリ・ゼミ」「ドリリーネ」を知らない者は徳大生でなくもぐりなのである。

とは言っても、オリ・ゼミ(オリエンテーション・セミナー)が

始まったのは、私の記憶では昭和52年度からで一期生から六期生までは、学生リーダーとなった人以外は経験ないはずである。

ドリリーネとは、秋吉台の研究者で地理学者であった故浜田清吉先生の説明によると『地下水による石灰岩の溶解浸蝕が進み、空洞が出来ると上部の地表が陥没して凹地が生じる。それがドリリーネ、つまり自然の陥没穴、くぼ地である』やっと思いついてくれたかなあ……。

○遙かなり 25万円電卓

徳山大学が創立された一九七一年(昭和46年)、アメリカでテキサス・インスツルメンツ社が、シリコンチップに電気回路をまとめた「ポケット電卓」を発表。この年スイスで Hoffman・ラ・ロッシュ社が「液晶表示パネル」を開発。しかし、徳大の電算センターに設置されていた8桁の電卓(まさに電子計算機卓上型)は大きすぎた。中々、現在家庭で使用されているワープロ並の大きさと重さだった。

機能から言えば当時とすればかなりすぐれたものであったらしいが、今日では980円で買えるポケット電卓並である。それが当時一台25万円であった。私も時折、集計の折に研究室へ借り出したが、貴重品扱いであった。当時電算室で実習をしていた諸君の中にもこの貴重な機械を扱った人も多い事であろう。

参考までに、日本で一万円台の電卓が発売されたのは一九七三年(昭和48年)で、カシオのこの製品は奪い合いになったそう。25万円から三年位で一挙に一万円台へ、技術革新は急テンポで進んでいる

ことを実証。
○遙かなり てんぶらそば
私にとって「徳山」と言えば、「てんぶらそば」という言葉が反的に返ってくる。

今から30年も昔になるが、当時大学生の私は、九州の博多から夕方の急行列車に乗って上京していた。所要時間は23時間30分、その頃の徳山駅周辺も真っ暗でコンビニの照明もなおつたし、たしか下関から小郡駅までは電化されていなく、SLに揺られ、窓を開けると煤煙が飛込んで来る仕末であった。

小郡で機関車が交替し、車内が静かになり、みんなが眠りについた頃、時刻は深夜の零時頃列車の震動がなくなり、駅に停車したなあと意識した時、突然「テンブラそば! テンブラそば!」と独特のイントネーションで眠りをさます売り声がプラットホームにこだまし「あ、徳山だ、てんぶらそばだ!」と反応したものである。

空腹に丸天のそばは、とてもおいしく、東京から博多へ帰省する時も、やはり深夜に停車していたので必ず食べたものである。一九七五年(昭和50年)三月十日、山陽新幹線の開通により夜行列車も止まらなくなり「テンブラそば」と売り歩く人も消えた様である。

○遙かなり 赤ヘルファイバー
今年のプロ野球日本シリーズはわが愛するライオンズと赤ヘルカープとの対戦となった。

清原がデビューし山本浩二が引退を決意した五年前のシリーズの再現となったが、ライオンズファンを通り越して気狂いの私にとって今年のカープは一番恐い相手である。

ある。この原稿執筆中二勝二敗で予感的中し接戦になりそうである。カープの戦力もかわいが、カープファンが最もこわいのである。特に徳大生は、広島県人が山口県人をおさえてダントツである。徳大生の大半を敵にまわして応援しなければならぬ。

そこで想い出すのが一九七五年(昭和50年)の赤ヘルファイバーである。広島初優勝、球団創立26年目にしての栄冠である。広島県人も燃えたが、徳大の授業も燃えた。広島カープ、セ・リーグ初優勝の翌日、私の担当する教育学の授業が30教室(階段教室)で午後一時十分から始まった。教室のまわりには、赤ヘルファンが興奮しながらいくつかのグループに分かれて祝勝会をやっているらしく教室に入ろうとしない。

そこで私は教室に入りマイクに向うと、わざと落着いた声で「赤ヘル軍団、優勝おめでとう。カープファンよ、初めての優勝おめでとう! 心よりお祝い申し上げます!」と淡々と告げたのである。すると比較的静かにしていた教室の七割位が突然立ち上り私に向って大きな拍手を始めたのである。「ありがと! やった!」とこぶしを突き上げる学生も大勢いた。

この拍手と歓声が聞えたのか、教室外の学生の興味をそそったのか、ドカドカドカと入口に殺到しついでには座席がなくなり通路に坐りこむ学生も多くなった。

拍手が三分以上も続くなかで、「休講パンザイ」なんて叫んでいる者もいた。教室がこんなにハイパーしたのは初めての経験である。

『広島カープの優勝は、パ・リーグの西鉄ライオンズファンの私にとっても感激であり、人生を語るうえで、今日の教育学の授業の上でも大きな意味がある。さあそれを考えてみよう』

「休講休講」の声も拍手もパンザイもおさまり、予想に反して私の第二声に耳をかたむけてくれた。そこで私は思いつきで次のような話をした事を憶えている。

「広島カープの優勝は、偏差値で徳大生が東大生に勝ったようなものだ。昭和25年にプロ野球がセパの二リーグに分裂した時、老舗球団の巨人・阪神に対して新設の広島カープが勝るとは到底考えられなかった。実際広島は26年間にAクラスは数回で、毎年最下位争いを続けていた。その落ちこぼれチームが努力の甲斐あってエリートを倒したのである。これはすごい事である。我々も赤ヘルに続くう!」再び拍手が起り学生の眼が一斉に輝きだした。赤ヘルファイバーは夕刻まで続いた。

あの感動をもう一度。赤ヘルは今後も健在なり……。

新しいパソコンのおかげでとても便利になりました。その一つはTEX(テックとかテヒと発音します)と呼ばれる論文編集用のソフトが使えるようになったことです。実は一九八四年にスタンフォード大学にいたとき大変びっくりしたことの一つにこのソフトとその利用方法がありました。複雑な数式が簡単にしかも美しく書ける。それをディスプレイの画面で直接目で確かめることができ、そのままレーザープリンターで書き出せる。雑誌に投稿するのは、係りの人に論文の登録番号を知らせるだけで専門の人が直接コンピュータから取り出し、編集者宛の手紙と

六階の研究室から

徳山大学教授

山岸 憲 治



にぎやかだったポプラ祭が終りにぎやかになったポプラ祭が終りにぎやかになりました。研究室にある32ビットのパソコンの前に座っています。今年の夏、大学の電子計算機センターで購入していただき研究室に借りてきているものです。今年度から各研究室にパソコンを設置するという計画が始まり、その恩恵を早速受けているわけです。無論、すでに15ビットのものは研究室にあったのですが、少々古くなっていました。

新しいパソコンのおかげでとても便利になりました。その一つはTEX(テックとかテヒと発音します)と呼ばれる論文編集用のソフトが使えるようになったことです。実は一九八四年にスタンフォード大学にいたとき大変びっくりしたことの一つにこのソフトとその利用方法がありました。複雑な数式が簡単にしかも美しく書ける。それをディスプレイの画面で直接目で確かめることができ、そのままレーザープリンターで書き出せる。雑誌に投稿するのは、係りの人に論文の登録番号を知らせるだけで専門の人が直接コンピュータから取り出し、編集者宛の手紙と



ともに送ってくれる。とまあ……いたれりつくせりといった感じでした。それが日本のパソコン上で使えるようになったのは2年後の87年でしたが、その時は、特にプリンターが高価で個人で持つのは無理でした。それが今や、レーザープリンターこそありませんが、研究室の小さなプリンターでも十分な美しさで書き出すことができますというわけです。

これだけであれば、まあワープロに毛が生えた程度と想っていたらだいたいよいのですが、その先があります。今後、世界中の論文類のまるごとのデータベース化が始まるうとしていきます。現在、論文は、雑誌や本になってはじめて保存されます。もし誰かが自分の欲しい論文をさがそうとすると、科学論文等のデータベースにアクセスすることになりますが、そこで手にはいる情報はせいぜいその論文の概要までです。結局、雑誌なり本なりを手しなれば論文全体を読むことができません。そこでもし、論文全体を電子的に保存できるようにすれば、通信網の利用により研究室にいて研究室にいて世界中の論文を手にいれることができます。このことを実現するためにまだ解決しなければならぬことが沢山ありますが、自然科学分野ではTEIXで書いたものを保存しようという点では今のところ世界各国で一致しているようです。TEIXを開発したスタンフォードのクヌース教授が著作権を放棄し誰でも使えるようにと望んだことから世界中で使われるようになったからです。このことがどんなに素晴らしいことであるかは、いまだに日本語フープロが、機種

によってはまだ多くの互換性が無いことを思いおこしていただくだけでよいと思います。さて大学は世界の人の共有財産であるという観点から世界中に通信ネットワークがつくられ、コンピュータを含む大学の諸施設の相互利用が進められていきます。徳山大学も、卒業生諸君や地域の人はもちろんのこと、世界中の人々から気軽に利用される開かれたまた真の意味での国際化した大学に成長していかねければなりません。それを皆さんとともにすこしでも実現できたらというのが今の私の願いです。

趣味

雑談

徳山大学教授

兼重 宗 和

皆さん夫々に趣味をお持ちのことと存じます。また、その趣味が高じて本業になった方もおられるでしょう。私は興味津々ではありませんが、その一つに釣ががあります。一四、五年前の話ですが、秋本辰己(現在教務部)さん達に連れられ初めて黒鯛を釣りに行きました。その日は、秋本さん達には釣れたのですが、小生ただ海に餌を撒いただけに終わりました。しかし、広く澄みきった青空と海原に抱かれ、時と共に沈む夕日を眺め、その中に漂う一点の棒浮子を見つめていると、日頃の煩雑な事など忘れ、心身共にリフレッシュしたバランスを取り戻しました。釣果が得られたのは、黒鯛の習性を教わった次回の釣行の時でした。その時の感動は今でも忘れられませ

ん。釣も、魚種によって各々習性が異なり、しかも自然的条件も相俟って奥深いものです。また、同じ趣味をもつ人との親交も深まり、沢山釣れた時は皆に配ったりコミュニケーションもできます。釣場や近辺を清掃するなど環境を守る態度も培われます。趣味にあたる英語は、hobby (An activity or interest pursued outside of one's regular work and engaged in primarily for taste (The faculty of discerning what is aesthetically excellent or appropriate)) があり、各々使い分けられている。また、『諸橋轍次著「大漢和辞典」によると、「趣」は「おもむく」「おもむき」「こころざし」「むかう」と、「味」は「あぢ」「あぢはふ」「「趣き」の意味がある。つまり、趣味とは単に職業としてではなく楽しみ、嗜好としてする事柄の意味に止まらず、「自分自身に向かい、自分のあじをだすこと」も含むと考えられる。

今日、人生八〇年と言われますが、これを時間に換算すると七〇万時間となり、そのうち生涯の労働時間は約一割の七万時間、残りの約三割の二万時間は自由時間であり、その自由時間がそれが趣味を通して自分を生かせる時間であり、自己学習のできる時間となる。趣味はもともと遊びの一種ですが、一過性のものでなくある程度持続され、個人の心に認められた社会的教養でもある。学校教育においては、「人生の一割」の職業を獲得するために科目学習が先行し、「人生の三割」の自由時間における趣味の教育は軽視されがちです。生涯学習が呼

ばれる今日、学校教育においても趣味に関する教育が必要です。趣味のための自己能力の開発は、本来一生を通して行われるものです。高度な情報化・機械化社会の現代において、人々は益々部分化・細分化・専門化し、常時緊張した状態にあるといえます。然るに、人間が人間として豊かさを取戻し、広い視野をもつためには、自己本来の姿にもどれる趣味が大きな役割を担っています。また、一人一人の趣味はそれを通して自己表現、自己実現をする他に、コミュニケーション、ヒューマンネットワーク、家族や友人関係の改善など、社会や文化を発展させる上でも大切です。

現代人の生き方として、今日、「趣味を生かした生活」が最も求められています。特に若い世代に趣味志向が強く、また婦人や高齢者の学習活動でも趣味に関する学習が盛大です。こうした状況を考えると、学校教育においても労働教育と共に趣味教育を行う必要が益々必要となってくる。学校教育での趣味教育には次の事が考えられる。まず第一に主体的な趣味選択能力を身につけること、次に趣味の持続・深化により個性の伸長に役立てること。第三に趣味活動の個人性を尊重し、自らグループ活動に参加し発展させる態度を身につける、第四に趣味を生かしボランティア活動を中心とした社会参加の態度・能力を身につけること、最後にこうした活動を含めて自己の老後の生活を考え、自らの生甲斐を見出せる能力を身につける。以上の事は、単に学校教育だけに頼るのではなく、家庭でも行う必要がある。

オジンの祈り

就職部 藤井 一利



by Tsuyoshi. Y

我輩は四十四才の戌である。鏡の中に自分が十代の頃に見た親父に似た姿がある。何故か、よく似てくるものだ。徳山生れの徳山育ち。縁あって市内で洋服業を商っていたが大学に籍を置くことになった。理事長秘書、就職部と十年が過ぎてしまった。厄年も終り、自分の子供達の姿を改めて見た。二人共、声変わりした高三と高一になっている。何故こんなに育ったんだろう。自分の気持は、子供と同じ年代にいつでも還れる。話も合やすことも出来る。まだまだ若いんだ。現に子供達はオジンと思っている。オジンとは呼ばない。ちゃんと、「お父さん」である。オジンとはオジサン(オジ)の略ではなからうか。厄年前後は確かに身体の変調期であることに間違いはない。酒が弱くなり、翌日に残ることもある。馬力がなくなり、無理が利かなくなり、悪いことにセックスまで弱くなる。自分の年代の中で一番先にオジンになったのではないかと弱気になる。徳山大学卒業生も、早や四十才に届く年令だ。私の気持も分かる人が何人かいるはずだ。皆様方も子育てが大変な時期だと憶測する。我家の豚児達も温々と育っている。長豚児は今年度大学受験で必死である。次豚児は兄の生きるまま、その後を同じ中学高校へ進み、同じクラブに所属、口が達者で要領のいい子だ。兄を先輩と呼ぶ。兄の庇護がなければ前へ進めない。小学校へ上がる時、子供を育てるに当り、我家で決めたことがある。一つは子供達に自分の部屋を与えない。当然二つ目は、両親と共に川の字になって寝る。スキップである。とうとう兄が中二で隣の部屋に行き(むろんフスマは取り除いてある)。高二で個室を与えた。弟は高校入学で与えた。三つ目は、自分の机を与えない。自分で進んで机に向う姿勢が見えたら与える。これは兄弟とも中学入学時に一般の事務机を与えた。四つ目は、勉強(宿題)は母親の側でさせる。台所仕事をしている時は食台で、夜は居間で皆がいる所で勉強させる。五つ目は、父親が何でもいから読書をする。(姿を見せる)いかにも自分で考え出したかのようだが、そうではない。私にも知恵袋がある。元徳山小学校長で大学の松陰会に迎えられた河口先生である。我家の豚児達も徳山小でお世話になった。二年半おられて玖珂部の教育長で出られた後、桜木小学校長の瀬島先生が継がれた。

知恵袋の言われるには、小学二年は元気に遊ばせ、三、四年は親、特に母親が就いて勉強させ、五、六年は親が子供と共に勉強せ

よ。そうすれば、自然中学生になれば、自主的に勉強するようになる。勉強せよと口うるさく言わな。また特に何でもいからクラブに属させる。そして、どんな原因があるとも、クラブを親の立場で退めさせない。例えば、勉強が遅れると言って、クラブを退めて勉強せよというようなことはしない。クラブを退めさせて、勉強しだした。とか、マナーが良くない、という話は聞いた事がない。逆はよく耳にする。

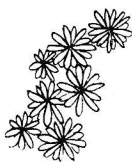
我家の豚児達も四才と三才で水泳を始め、選手コースに入り結構サマになってきた。ここでややしい問題が起った。次豚が長豚のタイムを抜いてしまった。長豚は五年で自信を失い、次豚は三年で天狗になり、私はハタと困った。

ここで知恵袋登場。一時的なものだ。ほっておけ。身体が大きくなれば元に戻る。ありがたいお言葉。親としては、何か手を打ちたい。丁度その時、長豚が耳を患った。待ってましたと、スイミングは休止。学校のミニバスケットと吹奏楽でサクスを始める。そうすると次豚も兄に負けずと、トランプを始める。という具合でいつも兄弟がライバルである。競い合うことで何でもレベルは上っていくものだ。

親として、オジンとして子供達の成長は楽しみなものだ。現在二人共、進学校に入ったが、その学校へ入学するのが目標でなく、絶えず、その上の目標へ向って押し進んでいってもらいたいのが祈りである。子煩悩なおオジンとお笑いでしょうが、これが楽しみでありまた趣味のようでもある、

卒業生諸兄も、皆いづれかはオ

ジンになる。オジンの祈りという折れるものがある。というのは幸せではないか。
喜びも悲しみも幾年月、自分達が大学を卒業して就職、結婚して子供が生まれたのも、つい先日のようだが、今度は自分達の子供が自分達と同じ道程を歩いている。人の一生は短いものだとなつて思う。子供達が離れて行ったら何もすることがないように思う。だから今のうちに年を取って、出来るものを何か見つけられればと祈るオジンである。



第21回ポプラ祭

開催される!!

今年もポプラ祭が十一月二三日四日の三日間開催された。
今年のテーマは Dreamers

Only 夢追い人の学生達が様々な企画を立てて盛り上げていた。秋の超大型台風により、すくすくと伸びていたポプラの木は倒れたが、ポプラ祭は七転八起今年も実行委員会の勇士学生達の眼はキラキラと輝やっていた。幸い天候にも恵まれ、一般の来客も多かった。バンド演奏、マジックショー、のど自慢にコンサート(KAZ渡辺美奈代)、ミスコンと行われ、中でもクイズではハワイ旅行が賞品と、参加者もわきあがっていた。そのような中で毎年行われている郷土芸能の回天太鼓は本学学生、社会



人、小学生を交えて披露され地域と大学のふれあいが見られた。そのほか、ESSのスピーチコンテストや写真部、芸術部の展示なども行われ、吹奏楽の演奏には大きな拍手が寄せられていた。

このポプラ祭に参加し青春の想い出を刻み込んだOB諸氏も多いいことと思うが、年に一度、いや、三年に一度でもいいからこれを機会に大学に立ち寄ってみてはどうだろうか。願わくば、地元OBは模範店を出店するなり、企画を持ちかけてみるなり、今や大学祭を盛り上げるのは決して大学生ばかりではないだろう。

大学祭というのはこうでなければならぬという形のない無限の可能性を秘めたDreamerの、広場のらうから。

クラブ活動近況

- 空手道部
昨年より下関市立大、山口大と合同練習をはじめ現在も精力的に活動している。
- 弓道部
中国国学生選手権(鳥取)出場
- 硬式庭球部
中四新進トーナメント(広島)個人ベスト32
- 硬式野球部
中国六大学春季・秋季リーグ優勝
第四十回
全日本大学野球選手権大会出場
- ゴルフ部
中国国学生秋季一部対抗戦優勝
全日本出場
- サッカー部
中国学生リーグ得失点の差で、惜しくも修道大に破れ2位
- 柔道部
全日本体重別選手権出場
- 軟式野球部
西日本秋季リーグ(山口)優勝
西日本大会優勝(大阪)
- バスケットボール部
中国地区インカレ予選一回戦岡山大破る。
- ヨット部
中国インカレ(宮島)6位、台風により艇庫大打撃、現在寄附を募っております。
- ラグビー部
山口県大学高専大会で接戦の末惜しくも中国大会出場成らず:
- 陸上競技部
91出雲くにびき全日本大学ロードリレー大会総合13位
- レスリング部
国体48kg級3位 62kg級5位
82kg級5位
- バスケットボール同好会
はじめての女子学生のみでの体育系サークル、昨年インカレ出場の島根大に延長の末一点差で敗れベスト四進出ならず。
- 教育研究会
各福祉施設で手話講習会開催
- 吹奏楽団
全日本吹奏楽コンクール出場
- フォークソング部
松星苑祭に出場
- 映画研究会
ポプラ祭にて自主製作映画上映
- グリークラブ
第46回合唱コンクール中国大会出場
- 写真部
恒例ポプラ祭に出展
- ウエイトレニング同好会
全日本カバディ選手権大会出場
前年度準優勝校日体大に26対57で善戦
- バドミントン同好会
同好会中最多部員擁し活躍中



★中尾晃氏作陶展開催される
本学卒業生で備前焼作家の中尾晃氏の個展が十一月二十二日から六日間徳山市内の百貨店で開かれた。会場には備前大徳利をはじめとして力のこもった作品が展示されていた。尚、中尾氏は、代表作品のひとつの「備前細口大壺」を大学創立二十周年を記念して寄贈された。

★ヨット部OBチーム中国大会へ出場
ヨット部OB会徳帆会では、さる七月チームを結成しY23クルーザーレースに参加。見事。山口県大会で優勝し八月に岡山で開かれた中国大会に出場した。残念ながらここでは一回戦敗退だったが相手艇は、全国大会に中国地区代表で出場、なんと優勝したのであった。今後のさらなる健闘を期待したい。

編集後記

校友会も組織改革を行い役員一同、前向きに意欲的に取り組んでいます。こういう性格の組織上何よりも大切なのが、名簿の整理ということ。校友会20周年に向けてこのことについて、より正確なものを作りたいと鋭意努力中です。その際各各位のご協力を賜わることと思いますがよろしくお願い申し上げます。